



# 親に結婚を 反対された親友

● 親友のことで相談です。彼には学生時代に東京で出会った県外出身の彼女がいます。結婚したいと言っていますが、日ごろから両親に「ナイチャー嫁だけは許さんよ」と言われてきた手前、決断できずにいたようです。先日ようやく意を決して親に話すと、けんもほろろに「会いたくもない」と一言。以来、深夜に酔っ払っては相談の長電話がかかってくる。励ましてあげたいのですが、どんなアドバイスをしとすればよいのでしょうか…。(セイショウ=33歳)

今週のお助け人  
きえ りゅうしょう  
帰依 龍照さん  
コザ真宗寺(旧コザ本願寺)住職、琉球大学仏教研究会会長。趣味は、見た目に合わせた大型バイクと、見た目に合わない熱帯魚飼育。自分の存在そのものが、人々の癒やしてあげば…と日々願う。座右の言は「恩は石に刻み 怒みは水に流せ」。

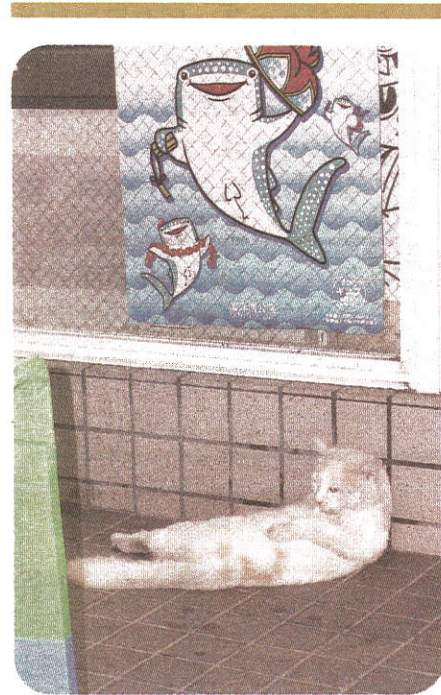
親友であるセイショウさんからのご相談です。彼にどのようなアドバイスをしてあげれば良いのかにポイントを絞ってあげようね。もしこれが本人からの投稿であれば「よっしゃあ！そのまんま愛を貫けえ！」と大喝采を送るところ。ぜひ頑張ってくださいと思います。知ってます？ 週刊レキオの編集者Mさんと回答者のわたしがナイチャーであるということ。まあ、因果と申しましょうか：何か深いご縁を感じます。えっ、そんなことないチャー…さむっ！ さあ、盛り上がってきたところで本題といきましょう。

「雨降って地固まる」のことわざのように、そのトラブル・意見の相違があつたからこそ、逆に仲良くなり、幸せになるのです。そんなハッピーエンドを迎えるためにも、ほんの少し先の将来を考えると、彼女と彼の

ご両親とは円満でなければいけません。口調が少々強くなつてゴメンなさいね。とても大切なところですので、ついつい…。  
縁談の場合、本人・家族・親族の取り巻き(友人・知人)が、良かれと思つてするアドバイスがもとで破談するケースが、わたしの経験上、多く見受けられる気がいたします。もちろん、悪気があつてアドバイスする人はいないのですが、なにせ反対する側・される側それぞれに応援団がつきますでしょうか？ 彼自身の意見を後押しするのも大事なんですけど、イチドウシ(親友)なればこそ、こんなアドバイスが必要ですよ…。

その反対であることに、彼自身が早く気付くことが大切です。そのお手伝いはセイショウさんでなければできないんですよ。  
西洋のことわざだったと記憶しています。「どんな猟師でも懐に入った鳥は撃てない」。ご両親と彼が対立する中には、問題解決の糸口さえも見出せないでしょう。子を案ずるご両親の懐に飛び込んで、「心配かけてゴメン、ありがとう」の感謝の言葉を、彼が口につけられるのなら、必ずこの結婚はハッピーエンドになると思います。セイショウさん！ わたしと同年代ですから、多分キュートな恋のエンゼル姿は似合わないと思いますが(ゴメンナサイ)、ご両親を大切にすれば、彼女も幸せになるつてこと、彼にアドバイスしてあげてくださいね。

自分自身の悩み・対人の悩み・恋の悩み・ヘンな悩み・大きな悩み・小さな悩み…そんな心の悩みにアドバイスが答えます。相談したいことを編集部までお送りください(匿名可・秘密厳守)。採用分には記念品を差し上げます。



突然のカタビに遭い、コンビニエンスストアの前で雨宿り。そのそばには周囲に目もくれず毛繕いをしている猫一匹。その後…ぼくたちがチキンを食べ始めると、においに誘われてゴロニヤンと甘えて近寄ってきた。なんだ、その勝手気ままな動きは!!  
那覇市上間にて (糸満市・ヨセミテ)